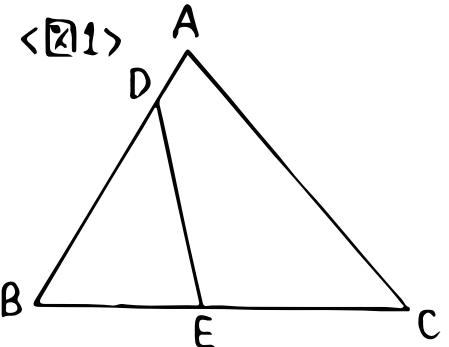
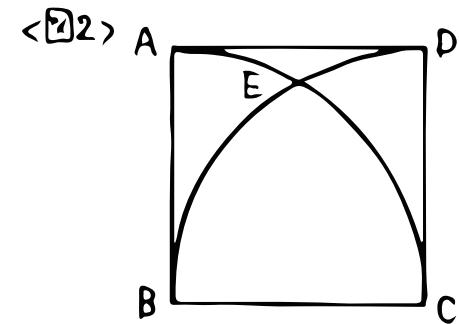


高校受験対策・図形 18

- ①右の図1のような△ABCがあります。点D、Eはそれぞれ辺AB、BC上の点で、 $\angle BDE = \angle ACB$ です。 $AD = 2\text{cm}$ 、 $DB = 8\text{cm}$ 、 $BE = 6\text{cm}$ のとき、ECの長さを求めなさい。



- ②右の図2は、正方形ABCDと、おうぎ形BAC、おうぎ形CBDを組み合わせたものです。点Eは \widehat{AC} と \widehat{BD} との交点です。正方形ABCDの1辺の長さが12cmのとき、 \widehat{BE} の長さを求めなさい。
ただし、円周率はπとします。



- ③右の図3のような四角形ABCDがあり、対角線ACと対角線BDとの交点をEとする。線分BE上に、2点B、Eと異なる点Fをとり、直線AFと辺BCとの交点をGとする。

四角形ABCDの面積が 50cm^2 、 $\triangle AGC$ の面積が 30cm^2 、 $BF:FD = 3:4$ 、 $AF:FG = 2:1$ であるとき、 $\triangle ACD$ の面積は何 cm^2 か。

